

大阪公立大学医学部附属病院

患者総合支援センター たより

特集

病診連携 がん地域連携パス
地域の医療機関とかかりつけ医との連携体制

Pick up アピランスケア相談会 / 医師の働き方改革

地域の医療機関とかかりつけ医が同じ治療方針のもとに、安全で質の高いがん治療を提供して、治療に当たる連携体制のことです。

■対象疾患 乳がん・大腸がん・胃がん・血液疾患・婦人科腫瘍

※当院では上記の疾患で連携パスを作成し地域の医療連携に活用しています。
※血液疾患/婦人科は専門的な治療を含むため、ご対応可能か確認をさせていただきます。
※患者さんの地域連携パスの理解促進のために冊子を準備しています。

■地域連携パスのメリット

<地域の医療機関>

- ・患者さんの治療経過を一目で見ることができる。
- ・がん治療連携指導料が算定可能となる場合があります。
- ※計画策定病院でがん治療連携計画策定料を算定した患者さんのみ

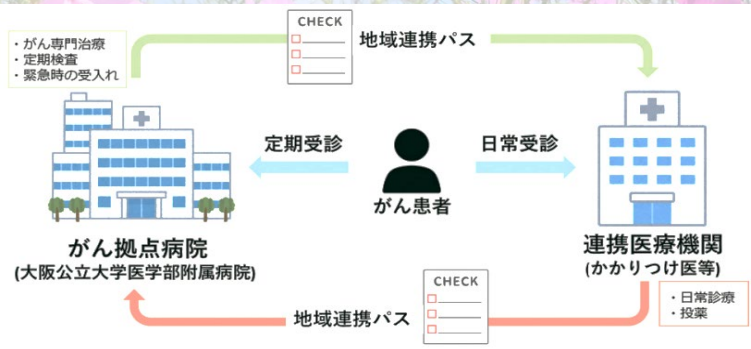
<患者さん>

- ・大学病院での長い待ち時間や通院の負担軽減になる。
- ・自身の治療計画や治療経過の把握がしやすい。

■実際の患者さんの治療計画(一部抜粋)

			かかりつけ医	大阪公大病院	かかりつけ医
			(術 後)		
			3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月
			月 日	月 日	月 日
診 察	問 診	食欲			
		腹部症状			
		排便			
	視触診	体重	○	○	○
		腹部理学所見			
一般的内科的診察					
採 血	血算・生化学		○	○	○
	CEA・CA19-9		○	○	○
検 査	CT検査			○	
	大腸内視鏡検査			△	

■診療のながれ



■がん治療連携指導料について

がん治療連携指導料 (300点) が算定可能な患者さんにつきましては、紹介状と一緒に算定有無の案内文を同封いたします。
施設基準「がん治療連携指導料 (300点)」の届出は全て当院で行います。
ご希望の医療機関は、同封の「連携登録申込書」をご準備のうえ、
患者支援課 (TEL 06-6645-2857) までご連絡下さい。



アピアランスケア（外見ケア）相談会を毎月開催しています

当院に通院・入院されるがん患者さんが、抗がん剤治療による脱毛などの副作用、手術に伴う見た目の変化などにより、治療を受ける患者さんにとっては苦痛が生じます。その苦痛を軽減するために院内美容室の専門のスタッフが、院内で定期的にアピアランスケア相談会を開催しています。

相談無料・予約不要

開催日

毎月第2木曜日・第4火曜日（祝日は除く）

時間

13時00分～16時00分

場所

1階⑥化学療法センター前休憩コーナー奥

相談内容

ウィッグ
ウィッグのお手入れ
ネイルケア・メイクアドバイス
医療向け帽子
他社製品のお手入れ など...



アピアランスケア

2024年4月から医師の働き方改革が始まりました！！

良質な医療の提供のためには、医師自身の健康維持及び促進が重要な要素と考え、国の政策として医師の働き方改革を見直す改革が進められています。

1

緊急を要する場合を除いて、
症状や治療方針の説明・同意の取得は
原則、平日の時間内
9:00～17:00に行います。

平日夜間、土日祝日の診療は、
グループ制で対応するため、
主治医ではなく他科の当番医が
担当します。

2

3

医師の仕事を他職種へ
タスクシフト/シェア
することを推進します。

当院における取組内容

医師の労働時間を把握し、
長時間労働の削減
に取り組みます。

4

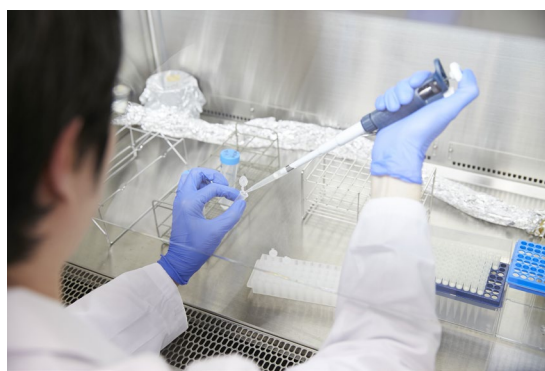


これからも良質な医療を持続的に提供するために、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

膠原病・ リウマチ内科

2021年4月、旧膠原病内科と旧内分泌・骨・リウマチ内科のリウマチ部門を統合した膠原病・リウマチ内科を開設いたしました。当院ではこれまで全身性エリテマトーデスなどの膠原病を膠原病内科で、関節リウマチなどのリウマチ性疾患を内分泌・骨・リウマチ内科で診療していましたが、ご紹介いただく際、その境界が大変わかりにくいとのご指摘を多数頂いておりました。この度、膠原病・リウマチ性疾患を総合的に診療する専門科を新設することで、よりわかりやすく、ご相談頂きやすい体制を整えていきたいと考えております。

膠原病・リウマチ性疾患の症状は全身多岐に渡るため、様々な診療科が集う大学病院の特性を生かし、他の専門科と相談しながら、多角的な診察の上での診断・治療を行うよう心掛けています。一方で、これら疾患では人生を通じたフォローを必要とすることが多いため、地域医療を担う先生方との連携が不可欠であると考えています。可能な限りすべての患者さんにかかりつけ医をお持ちいただき、先生方との病病・病診連携を十分に図ることで、それぞれの長所を生かした安心感のある医療を提供できるよう努めていきたいと考えています。



対象疾患

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎・皮膚筋炎、全身性強皮症、混合結合組織病、シェーグレン症候群、血管炎症候群（結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、高安動脈炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、巨細胞動脈炎など）、リウマチ性多発筋痛症/RS3PE症候群、ベーチェット病、成人発症スチル病、再発性多発軟骨炎、IgG4関連疾患など

皮膚科

大阪公立大学皮膚科では、1) 現代医学的に見て最善と思われる医療を提供する、2) わかりやすい納得できる説明を行う、3) 他の医療機関から見て安心して紹介できる診療を行う、を3つのモットーとして日々診療に励んでおります。

- 水疱症、白斑、脱毛症、アトピー性皮膚炎、乾癬の専門外来を行っています。
- 帯状疱疹や蜂窩織炎など頻繁に遭遇する皮膚疾患の入院加療にも注力しています。
- 光線療法（UVA、ナローバンドUVB、エキシマライト）を行っています。
- 皮膚悪性腫瘍の診断・治療（手術、放射線、分子標的・免疫療法を含む化学療法）を行っています。
- 病理診断科と連携し、難しい症例の診断にも積極的に取り組んでいます。

入院が必要な症例、お困りの症例等ございましたらぜひご紹介ください。



外来手術室



ナローバンド
UVB

次回予告



★ 診療科紹介（予定） ★ 当院の診療科をご紹介します。

乳腺外科

呼吸器外科

Face to Faceの会 ご案内

今回は 令和 6 年11月30日（土）に開催します。

詳細については決まり次第、患者総合支援センターたよりにてご案内予定です。

地 域 医 療 連 絡 室

月曜日～金曜日 9:00 ～19:00

電話：06-6645-2877

FAX：06-6646-6215

URL：[https://www.hosp.omu.ac.jp/
health_professionals/area/area.html](https://www.hosp.omu.ac.jp/health_professionals/area/area.html)

ご予約方法

『診察予約申込書（診療情報提供書）』をご作成のうえ、
FAXにてお申し込みください。

医療連携登録医の方はWeb予約も可能です。

詳しくは、当院の地域医療連絡室のHPをご覧ください。

緊急性や専門医への内容確認の必要性を判断するため、
診察予約申込書の「症状経過及び検査結果」記入欄や
別添していただく診療情報提供書はできる限り
詳しくご記載いただきますようよろしくお願いいたします。
また、検査データなどがある場合は、一緒にFAXください。



〒545-8586

大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7

大阪公立大学医学部附属病院

TEL : 06-6645-2121 (代表)

TEL : 06-6645-2857 (患者支援課)

初診受付時間 : 8 : 45 ~ 10 : 30

休診日 : 土曜日・日曜日・祝日・12/29~1/3

送り先の変更・データでの提供依頼等ございましたらお問い合わせください。